

2017-2018 ガバナー月信

GOVERNOR'S 12 Monthly Letter

函館最初物語



福士 成豊



【日本初の函館気候測量所（美原の現地気象台建物）】

福士成豊は、トーマスブラキストンの指導を受け、気象観測の方法を学習した。やがて開拓使に「気象観測所の開設」について建議し、明治5年（1872年）船場町の自宅に「気象測候所」を開設し観測を始めた。この「函館気候測量所」こそ、日本における最初の気候測候所で、「東京気象台」の発足より5年も早い。明治12年高砂町に移り、大正2年の大火に焼け、海岸町の埋立地に移し、昭和17年函館海洋気象台に昇格し、その後美原に移転し、今は函館地方気象台として、その役割を担っている。



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011) 207-2510 FAX(011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリー：変化をもたらす」



国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度地区目標

1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと
しています。

2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。
地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。

ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●九州北部豪雨災害支援御礼..... 9
●疾病予防と治療月間にちなんで..... 2	●ハイライトよねやま..... 10
●米山記念奨学・学会会総会開催..... 3	●ロータリーコーディネーターNEWS..... 11
●奉仕「service」の行方..... 4	●米山奨学生のご紹介..... 12
●クラブ支援について..... 5	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付..... 12
●ガバナー公式訪問..... 6	●地区カレンダー12月・1月..... 13
●新入会員合宿研修セミナーご案内..... 8	●出席率・会員数..... 14
●新会員のご紹介／訃報..... 9	●文庫通信..... 15



地区の現状と変化

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **国立金助**

(函館RC)

クラブ訪問も7月11日の深川・妹背牛ロータリークラブらから始まり、10月4日、恵庭・由仁ロータリークラブで57クラブを終え、10月13・14・15日の地区大会(函館)終了後、10・11グループ10クラブ+洞爺湖ロータリークラブの訪問、そして10月16日、我函館ロータリークラブ訪問で69クラブすべての訪問を終える事ができました。各クラブロータリアンの皆様には、温かく迎えて戴き、心よりお礼申し上げます。私の生涯の良き思い出となりました。

69クラブ訪問して感じた事は、第2510地区69の内、会員30名以下のクラブが34クラブと約半数を占め、その内会員数10名以下が5クラブ、11~20名が14クラブ、21~30名が15クラブでありました。そして45名以上のクラブは19クラブで約27.5%となります。財政・人的にもバランスの取れる人数は40名前後、財政・人的に余裕が出る人数は50名以上のクラブです。そして会員数40名以下のクラブの問題点(壁)は、①会員の高齢化、②途中退会者の増加、③会員となる候補者の不在です。クラブ運営上の問題点は、①事業のマンネリ化、②情報の不足、③地区への役員派遣が少ないことです。2016年規定審議会でクラブの柔軟性が認められた後の対応は①導入した20%、②今後予定・検討中20%、③従来通り60%、総体としてクラブの柔軟性が認められた事で、各クラブ自らのクラブの見直し(3~5年後)を真剣に考えています。近い将来クラブからRIに対する要望が増え、地区のクラブに対する支援も柔軟に変更できる体制が必要となります。

また、RIが時代と共に変化して「クラブの柔軟性を認めた」他に私共に関連する事としては、①ゾーンの見直し、②ロータリー財

団の小委員会として「ロータリー平和フェロー委員会」が2020年より導入されることです。

まず、ゾーンの見直しでは、第2510地区が所属する第1ゾーンの中にバングラディッシュ・パキスタン・インドネシアが入ってくる予定です(2019年規定審議会で承認される予定)。

【ゾーンとは】

国際ロータリーRI会長指名委員とRI理事指名委員を選挙するため、RI理事会が編成してクラブ集団のことで、均衡・公平の為、7~8年に一度見直し。

現在、日本は3ゾーン体制(3,500人×3ゾーン=105,000人)であるが、日本のロータリアンは、88,000人として3ゾーンを維持する為には、17,000人の会員増員が必要となる。

それを補う為に、バングラディッシュ 340クラブ 9,637人、パキスタン 235クラブ 4,435人、インドネシア 120クラブ 2,397人の合計695クラブ 16,469人が第1ゾーンに入る。

そして第1ゾーンの中から埼玉県を第2ゾーンへ移行する。このことで、どの様な影響が出るか、現在ガバナー会でも検討中である。

続いて、ロータリー財団小委員会として、「ロータリー平和フェロー委員会」が新設される事については、次回ガバナー月信にて報告させて戴きます。

RIは時代と共に変化し、それに伴い、第2510地区も変化すべき時が来たと思います。

これからは若者の「英知と汗をかく」時代の到来です。大きな視野と大きな夢をもち、皆で力を合わせ地域の為に頑張りましょう。



疾病予防と治療月間にちなんで

公益財団法人札幌がんセミナー

理事長 **小林 博**

(札幌北RC・PG)

12月は「疾病予防と治療月間」です。疾病のなかで何が一番問題かといえば、やはり「がん」ではないでしょうか。「がん」は日本人の死因のトップです。毎年、地区大会で紹介される物故者の多くはがんで亡くなると聞いております。

「がん」にならないための工夫が「がん」の1次予防。それでもなってしまった「がん」を早く見つけるのを2次予防（検診）といっています。

1次予防のキーポイントは生活習慣の改善です。綺麗な空気、バランスのとれた食事、適正な運動、余裕のある生活などでかなりの「がん」は予防出来ます。といっても、これにも限界がありますので、「がん」になったものをいかに早く見つけ治療につなげていくか。この役割を果たすのが2次予防の検診です。

それでは検診を受けていれば絶対大丈夫かという、必ずしもそうではありません。それでも早期発見のお陰で健康を取り戻し、その後の人生を全うする方もたくさんおられます。ですから、「がん」検診は絶対お勧めなのです。

残念ながら北海道の「がん」検診率は他の都府県に比べてかなり低いのです。同時に「がん」死亡率はもっとも高いことがわかっています。

このような汚名を返上するために、北海道のロータリアンが何か出来ることはないでしょうか。地区ロータリアンが率先して、ご自分だけでなく、ご家族にも、そして職場の同僚の方々、さらに一般市民のために「がん」の

予防、「がん」の検診率の向上に積極的にお力添えをいただけないものでしょうか。

そのことを改めて考えるチャンス。これが12月の「疾病予防と治療月間」の趣旨と理解しております。ロータリアンが「がん」の予防と検診率の向上のリーダーになっていただければ、こんな素晴らしいことはありません。国立金助ガバナーからも心強い激励のお言葉をいただいております。



米山記念奨学・学友会総会開催

米山記念奨学・学友委員会

委員 山田 正

(小樽南RC)



会長退任の挨拶

米山奨学生学友会(北海道)

汪 志平

11月12日の定時総会にて、米山学友会(北海道)会長を退任いたしました汪志平です。学友会の設立時より、役員として携わらせていただき、一昨年末に陳省仁元会長の後任として、2年間の任を無事に終えることができました。これも学友会幹事のみなさま、地区米山奨学委員会の方、そしてロータリアンのみなさまのおかげだと考えております。この場で改めて、御礼を申し上げます。

私は1993年度に米山奨学生となり、そのおかげで無事に経済学博士の学位をとり、順調に日本の大学で教職を得ました。それ以来、24年の月日経っているにも拘らず、定期的に米山学友やロータリアン方とお会いしたり、現役の米山奨学生のみなさんとお話したりすることは、大変うれしいことでした。

今後も、本務の教育研究活動を軸としながら、米山学友会(北海道)でさまざまな学びや出会い、そして喜びが続いていくことでしょう。私も、OBとして、引き続き、新会長を応援していきたいと思っております。米山学友会(北海道)、そして、それをとりまく方々すべての飛躍を願って、退任の言葉としたいと思います。2年間、ありがとうございました。



会長就任挨拶

米山奨学生学友会(北海道)

会長 朴 炫珍

2017年度から2500地区と2510地区の米山学友会の会長を務めます朴 炫珍(パク ヒョンジン)と申します。

2014年度米山奨学生として、世話クラブである2510地区の札幌西RCのお世話になったことをきっかけにロータリーの精神を学ぶことができました。

2015年度から学友会のメンバーとして、幹事や副会長などの役職を担当することで学友会に大変愛着を持つようになりました。

まだ学友として年月の短い私が学友会の会長になったので、若さを武器に、活気のある学友会を目指そうと思っています。

特に、今年度からは米山記念奨学金の元奨学生だけではなく、奨学生も学友会の正会員になり、学友会がますます若くなりました。

これから活気のある学友会になると思いますが、微力な自分の力だけで学友会を運営することは到底できるものではありません。

学友会の役員の方々の皆さん、多くの関心を持ってくださる学友の方々、そして支援して下さるロータリアンの皆様のご指導・ご協力があっての活気のある学友会です。

どうか皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学友会の役員のみならず、支えてくださる皆さんに恥じることはないように、また今まで学友会を導いてくださった前任の役員の方々に比べても劣れをとらないように頑張ります。

それでは、これからの学友会に関心を持って見守ってください。





奉仕「Service」の行方

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井 清 治

(函館亀田RC)

ロータリアン以外の方が「五大奉仕」という言葉を耳にした場合、その中の「職業奉仕」の割合は5分割され、20%だとほとんどの方が素直に思うことでしょう。

どのようにして当時の四大奉仕が出来上がったのか？少し歴史を振り返ってみましょう。

奉仕理念が確定した1907年頃の初期のロータリアン達は、例会内活動と例会外活動の二つに分類して活動していました。例会内活動によって高められた心を持って、それぞれのコミュニティに戻り、そこで奉仕活動の実践をするのが理想的なロータリー・ライフであり、そのように順序付けられていました。つまり、例会内活動は親睦を前提とした奉仕理念の研鑽、例会外活動は奉仕活動の実践と、明快に区別されていました。そして、例会内活動はロータリー運動を成立させるための必要条件として、定款や細則の規制下に置き、例会外活動はあまりうるさく規制せず、ロータリアン個人やクラブの自由裁量権に委ねていたものと考えられます。

その後、対社会的活動が徐々に盛んになり、職業奉仕の理念が確立し、また、新たに国際的な活動が始まるにつれ、例会外活動を合理的に再編成しようという動きがでてきました。奉仕活動の主体がロータリアンかクラブかの論争に終止符を打ったのが1923年の決議23-34です。この決議は奉仕活動の主体はロータリアンであるとしながらも、サンプルという条件をつけながらクラブにも奉仕活動実践の責務を負わせた内容になっているのが特徴です。クラブが奉仕活動の実践に関与する場合、従来の例会外の活動という考え方だけでは、これらの活動を管理することが困難になってきました。ロータリーが急速に拡大していた背景もあり、1927年のオステンド大会においてロータリーの組織管理の合理化が行われ、実践上または管理上の利便から抜本的に再編成されて、四大奉仕に基づいた委員会構成に変更されました。ロータリー誕生から22年後のことです。

この方法はイギリスのロータリー群で早い時期からパイロット・プログラムとして試行されていたものが、「The Aims and Objects Plan」として1927年RIによって正式採用されたものです。確かに素晴らしい方法ですが、ロータリーの根幹をなす職業奉仕もこの四つの中に入ってしまったことに解りずら

くなっているひとつの原因なのではないでしょうか。理念がこの時点で4分割されたように思えてなりません。実際に「最も良く奉仕するもの最も多く報いられる」という標語で知られる、ロータリーに奉仕哲学をもたらしたシェルドンも3年後の1930年にシカゴクラブを退会し、ロータリーを去っています。

さて、五大奉仕の「奉仕」Serviceの意味するものは皆同じなのではないでしょうか？

クラブ奉仕の「奉仕」はクラブを維持管理するための活動であり、その受益者はもちろん会員です。職業奉仕の「奉仕」は自らの事業を維持発展していくための科学的な経営方法と結果として高められる職業倫理を表し、その受益者も会員本人です。社会奉仕の「奉仕」は弱者に涙する人道的援助活動を表し、国際奉仕はロータリアン同士の相互理解による国際平和を表し、青少年奉仕も新世代の健全育成を表しています。そして、その受益者はロータリアン以外の人たちです。これらの対象となる受益者も内容も全く異なった実践活動を「奉仕」という同じ言葉で定義したことは、いささか無謀であると同時に、ロータリーの活動を一般社会の人はもちろん、ロータリアンからも判り難いものになっているような気がいたします。

元来Serviceを「奉仕」と誰が訳したかはわかりませんが、社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕は「貢献」と訳すべきではないでしょうか。クラブ奉仕は「運営」だと思います。

では、職業奉仕の「奉仕」Serviceとは……。是非、皆様のクラブで一度話し合ってみてはいかがでしょうか。

米山梅吉翁は「職業向上サービス」と訳しました。絶えず個別的な自己と対決し、自己に潜む欠点を他の良質な職業人に学ぶ姿勢をもって是正して行くことが職業奉仕の「Service」ではないかと私個人的には思っております。

「そんなこと、君に云われなくてもわかっているヨ！」と、先達ロータリアンの声が天から聞こえてきそうですが、当時の時代背景（第二次世界大戦直前の緊張していた時代）の中では「奉仕」と訳すしかほかなかったのでしょうかネ。

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

クラブ支援について

地区クラブ支援委員会

委員 原 口 康 洋

(札幌南RC)

地区クラブ支援委員会は、国立ガバナーの地区推進目標である「地区委員会と各クラブの連携強化」を具現化するため設置されました。まだ手探りの状態ではありますが、「各クラブの悩み事の相談窓口」という役割はもちろん、「有益な情報の提供及び共有化」及び「効率的な運営の提案」ということが求められております。クラブ運営上、特に支障もなく、活発な活動が行われている場合は、特に当委員会に対して支援を求めることはないと思われれます。そのようなクラブに対しては、より良い情報をこちら側から提供の方が実態に即していると考えます。

情報の共有化という面では、現在地区には69クラブがあり、地域性のみならず会員数、年齢構成等が異なっており、独自性を持った活動が行われております。各クラブの取り組みは、ガバナー月信等の媒体にて紹介されることがあり、ある程度は理解することが可能です。しかし、これらはクラブをPRする側面からの、ある意味表、面的な情報であり、そこに至る経緯であるとか、克服した問題点・改善策、現在抱えている悩みなど、表には出てこない情報の方が他のクラブが参考とし、共感し得るものかもしれません。

先般、地区大会時に当委員会より各クラブにアンケートを取らせていただきました。各クラブとも熱心に活動をされていることが文面から伺えました。特に地方のクラブは、少人数ながらも地域に根差した活動をされており、「ロータリーは地域とともにある」ということを実感いたしました。しかし、一方では会員数の減少及び高齢化から5年後、10年後はどうなっているのかといった不安も記載されておりました。

アンケートの集計結果の詳細については改めてご報告する機会があると思いますが、今回は、地区で行っている新入会員研修(2018年1月27日・28日予定)について、過去に参加したクラブから、次のような感想が寄せられておりましたのでご紹介したいと思います。

- ・他クラブの知人が増えてよかった。(同内容多数)
- ・参加経験のある会員が卓話を行って参加を促している。
- ・講演、グループ討論、ワークショップ等ロータリーを学ぶ場であった。
- ・他クラブの皆様のフランクな対応により堅苦しくなく有意義な研修で、大変良い機会をいただいた。
- ・参加しなければ会うことのない人々との出会いと講和に啓発された。クラブから参加した4名の結束は固く、ロータリー活動にも大きな変化が見受けられた。(次回は対象者7名全員参加予定)
- ・ロータリーの幅広さと多様性に触れ、充実した研修だった。
- ・講演を拝聴し感銘を受けた。
- ・研修自体は意義があるが、2日間の日程は少し負担が大きいかもしれない。
- ・会員数が少なく、クラブ単独での研修プログラムが実施できないため、是非継続して開催してほしい。
- ・他クラブとの交流で例会の進め方や会費などの違いを知った。
- ・人脈ができる、仕組みがわかる、ロータリー活動が身近なものになる。

以上のように大変好評となっておりますので、対象となる会員の皆様、是非参加ください。

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承ください。

蘭越ロータリークラブ

8/7月

8月7日(月)午前10時、例会場のふれあいプラザ21において国立ガバナー、泉第6グループガバナー補佐をお迎えし、会長・幹事懇談会が開催されました。

ガバナーから、会員増強について尋ねられ、会長より「クラブ創立50周年を迎える年度である。クラブ運営から会員10名以下にさせることが出来ない。必ず1名以上の拡大を果たす」と決意を示しました。

奉仕活動では、老人ホーム・児童養護施設の慰問活動や「少年百人一首カルタ大会」への財政援助を継続実施しつつ、今年度の新規事業として青少年奉仕として、「少年サッカー大会」実施することを伝えました。

その後、クラブ協議会が開催され、活動計画を発表し、ガバナーより各活動の留意点を解り易くアドバイス頂きました。

例会のガバナー卓話では、地区数値目標やロータリーのイメージポスターを張り、ロータリーの活動を知ってもらうことが会員増強に繋がることと話されました。また、卓話の中で、公式訪問時に令夫人が同行している背景を話され、ご夫婦の絆に会員一同感銘をしたところでした。卓話を通じ、ロータリーの活動の大切さを改めて認識し、会員増強を必ずや成し遂げる決意を固めることが出来た有意義な公式訪問でした。



浦河ロータリークラブ

8/22火

8月22日(火)、国際ロータリー第2510地区国立ガバナーが公式訪問で浦河RCにお越し頂きました。同行で大槻地区幹事、小林第8グループガバナー補佐も来訪されました。

10時より工藤会長、櫛桁会長エレクト、山村幹事他2名参加で、浦河RCの今年度の活動内容、運営方針等をお伝えし、アドバイス等を頂きました。

11時からのクラブ協議会では、各委員長の今年度の活動方針の発表後ガバナーより、適宜な質問、お褒めの言葉も頂き、和気藹々の内にクラブ協議会を終える事ができました。

卓話では、RIのテーマと地区目標、重点課題等を解り易く説明され、国立ガバナーの気さくな人柄もあり、会員も親しみを持ち、熱心に国立ガバナーの卓話に聞き入っておりました。熱心な語りかけで、ロータリークラブの活動や方針等も会員も十分理解する事が出来たと思います。



札幌西北ロータリークラブ

9/7木

去る9月7日(木)、国立金助ガバナー、石丸修太郎ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前10時からの会長、会長エレクト、幹事との懇談会では、創立以来「明るく、楽しく、出席しやすいクラブ」をモットーに掲げ、親睦と奉仕に努めていること、活発な親睦活動や同好会活動、三角山清掃登山・四阿整備や大通公園植栽など、地域に根ざした活動について報告させていただきました。また、今年度の取り組みである、ロータリーらしさ、地区との連携、変えることにチャレンジについてお話させていただきました。

引き続き午前11時からのクラブ協議会では、各委員長の活動方針を報告、国立ガバナーから会員増強等のご指導をいただきなど、充実した協議会となりました。

例会におきましては、国立ガバナーより、例会会場にも掲示した3枚のイメージポスター制作の経緯をお話いただき、ポスターに込められた熱いお気持ちを伺いました。最後に国立ガバナー、石丸ガバナー補佐を囲みメンバー全員で記念写真を撮影し、公式訪問を終了しました。



函館五稜郭ロータリークラブ

10/20 金

10月20日(金)、国立金助ガバナー、黒島一生ガバナー補佐、森川順治地区代表幹事、丸山雄一地区幹事、藤井方雄ロータリーの友地区代表幹事をお迎えし公式訪問が開催されました。

午前10時より会長幹事懇談会、11時よりクラブアッセンブリー、12時30分より例会、そして写真撮影と、当クラブを訪問されました皆様には長時間のお付き合いを頂きました。貴重なご意見や情報そしてまた、当クラブで行っている事業には大変関心を示して頂き、将来の継続事業として押し進めるうえにおいても力を与えて頂いたものと思っています。

国立ガバナーのお話では、ガバナーとしてロータリーの心というものをどうやって取り戻そうかということを考えて、職業奉仕については色々な形があることを実感されたり、ポリオの撲滅運動についてはポリオ患者がゼロになるまで続けるのがロータリアンであると確信されたり、植樹については本当に待ち望んでいる地域を探し、タイ国の25校に各30本を送ったり、地区とロータリークラブの連携についてはクラブの自主性に伴う維持活動を考えたりとの事。それぞれに考えなければならない課題を沢山お話していただきました。有意義な時間を過ごさせて頂きましたことに感謝いたします。有り難うございました。



長万部ロータリークラブ

10/23 月

10月23日(月)、国立金助ガバナー、石川 強第10グループガバナー補佐、森川地区代表幹事、石山嘉治地区副代表幹事、藤井方雄ロータリーの友代表委員には、当クラブを訪問頂き有難う御座いました。

当日、国立ガバナーは、第2650地区の地区大会からの帰りで、超大型台風21号に遭遇、台風は静岡県に上陸し、その後、関東から東北へ抜け、各地で大雨や強風が続いて、空港も欠航で、みんなが心配している中、18時に会場に着きました。

予定していた16時からの木幡正志町長表敬訪問、その後の会長・幹事懇談会、クラブ協議会の開催は見送られましたが、18時より第2364回(ガバナー公式訪問)例会を開会、国立ガバナーが、テレビニュースで見た当クラブの「毛ガニまつり」に出店して地域の人と共に活動している姿や、店内に3枚のポスターを掲示していたことを高評、町に寄贈した「花時計」の管理の大変さに共感を頂きました。

世界ポリオ撲滅については、9月10日現在、患者はパキスタン4名、アフガニスタン6名の計10名です。1985年から31年間、5カ国に35万人のポリオ撲滅に1,800億円費やしてきました。ポリオ撲滅達成までR Iは、次の事業はない、ポリオゼロの歴史的瞬間に立ち会おうと激励。

環境保護の取り組み事業の120万本(会員数120万人に1人1本)目標達成を誓い合った。

19時、創立50周年記念祝賀会を開催。昭和43年2月13日、29名のチャーターメンバーで創立。祝賀会には、ガバナー一行とホストクラブの森RC、郊外クラブで交流の七飯RCにも出席頂きました。

イアンH. S. ライズリーR I会長から「クラブ創立50周年表彰状」があり、国立ガバナーから赤塚会長に伝達された。祝賀会には、会員夫人も出席して和気あいあいの祝宴でした。



函館東ロータリークラブ

11/7 火

11月7日(火)、国立金助ガバナー、黒島11Gガバナー補佐、森川地区代表幹事、吉川地区副代表幹事、石山地区副代表幹事、大槻地区幹事、藤井ロータリーの友地区代表委員と沢山の地区役員の皆様をお迎えして、今年度のガバナー公式訪問を開催いたしました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では、当クラブの現状と奉仕活動の内容等を説明させて頂き、ガバナーから貴重なご意見や感想をお聞きし、限られた時間でしたが、有意義な懇談会となりました。

午前11時からのクラブ協議会は、各委員会より今年度の進捗状況について説明が行われました。各委員長との意見交換では、国立ガバナーから貴重なアドバイスを頂戴し、今後の奉仕活動に活用させて頂きたいと思えます。

例会卓話では、冒頭に10月に開催し、成功裏に終了した地区大会への支援協力と、地区へ多数の出向者派遣について御礼を頂戴いたしました。本題では、ポリオ撲滅について、あと僅か、「END POLIO NOW」のバッジをつけての啓発促進、3種類の「ロータリーイメージポスター」の意義、「120万本の植樹」の取り組みについて等、また余談として自家用車で奥様とご一緒に公式訪問されたエピソードをお話になり、とても穏やかな雰囲気の中、公式訪問は無事終了いたしました。



九州北部豪雨災害支援御礼

謹啓 同期ガバナーの皆様におかれまして、
精力的にご活動の事と拝察申し上げます。

さて、この度の「平成29年7月九州北部
豪雨災害」に際しましては、たくさんのご支
援を賜り、誠にありがとうございました。

先にお伝えした通り、9月1日に福岡県
へ寄託いたしました。その後も支援のお振
込みをいただき、最終的には84,099,010円
を寄託することができました。福岡県知事よ
り、全国のロータリー宛にお礼状が届きま
したのでご紹介させていただきます。

復興にはまだまだ時間がかかりますが、
皆様方よりお寄せいただきました浄財は、被
災地復興へ寄せる切なる願いとして、被災さ
れた方々への大きな力添えになるものと確
信いたしております。

重ねて厚く御礼申し上げますと共に、ご支
援賜りました皆様方へ何卒宜しくご鳳声賜
りますようお願いいたします。

謹 白

2017年11月21日

【小川 洋 福岡県知事より御礼】

謹啓 秋冷の候、ますますご清栄のこととお
喜び申し上げます。

このたびの平成29年7月九州北部豪雨災害
に際しましては、丁重なるお見舞いをいた
だき心からお礼申し上げます。

貴台をはじめ各方面から温かいご支援、ご
協力をいただきまして、現在、被災市町村と
して、全力で災害復興に取り組んでいると
ころです。

御寄贈いただきました義援金につきまして
は、御厚志に浴うよう有意義に活用させて
いただきながら、災害対策に全力を注ぎたい
と考えております。

本来なら拝眉のうえお礼申し上げるべきと
ころではございますが、とりいそぎ書中をも
ちまして、お礼申し上げます。

謹 白

平成29年10月6日

福岡県知事 小 川 洋

全国ロータリー会員一同 様

国際ロータリー第2700地区

ガバナー 安 増 惇 夫

(単位:円)

地区名	義捐金額	
2510	北海道西部	2,035,000
2520	岩手/宮城	2,300,000
2530	福島	1,318,526
2540	秋田	300,000
2550	栃木	1,640,000
2560	新潟	2,500,000
2570	埼玉西北	2,115,000
2580	東京/沖縄	3,644,264
2590	神奈川	2,350,000
2600	長野	966,250
2610	富山/石川	1,935,124
2620	山梨/静岡	2,590,224
2630	岐阜/三重	142,400
2640	大阪府南部/和歌山	3,000,000
2650	福井/滋賀/京都/奈良	5,000,000
2660	大阪府北部	5,084,691
2670	香川/愛媛/徳島/高知	2,000,000
2680	兵庫	2,903,656
2690	岡山/鳥取/島根	3,000,000
2710	広島/山口	3,407,194
2720	大分/熊本	5,239,727
2730	宮崎/鹿児島	1,800,000
2740	佐賀/長崎	2,326,689
2750	東京	3,641,326
2760	愛知	3,945,371
2770	埼玉南東	3,245,371
2780	神奈川	2,500,000
2790	千葉	3,038,708
2800	山形	300,000
2820	茨城	1,250,000
2830	青森	718,557
2840	群馬	2,000,000
合 計		78,267,713

	義捐金額
当 2700 地区	5,651,057
医療法人如水会今村病院(鳥栖RC会員)	50,000
啓新高校インターアクトクラブ(福井)	10,224
2590地区(神奈川)ローターアクト	100,000
個 人	20,000
利 息	16
合 計	5,831,297

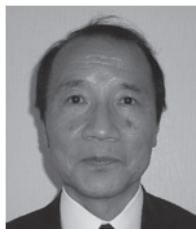
総 合 計	84,099,010
-------	------------

新会員のご紹介

(敬称略)



静内RC
早坂 重光
8月23日入会
信用金庫



札幌北RC
大館 政弘
10月23日入会
不動産賃貸業



札幌モーニングRC
小川 正人
11月8日入会
防災設備設置工事業



室蘭東RC
内池 秀樹
11月8日入会
社会保険労務士



室蘭東RC
駒井 桂伺
11月8日入会
税理士



室蘭東RC
古川 真之
11月8日入会
石材加工販売

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



岩見沢ロータリークラブ

牧 陽一

2017年10月30日 逝去
(享年91歳)

【ロータリー歴】

1974年(昭和49年) 2月 入会
1983~1984年 会長エレクト
1984~1985年 第31代会長

【表彰】

35年100%出席
マルチプルポールハリスフェロー(2)
米山功労賞(3)

新入会員合宿研修セミナーのご案内

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 国立金助

日時：2018年1月27日(土)・28日(日)／於：登別グランドホテル

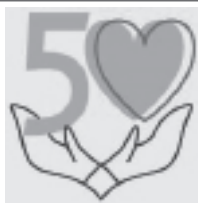
■入会3年未満のロータリアンを対象に、研修セミナーを開催いたします■

1月27日(第1日目) 14:00より

【基調講演】株財界さっぽろ 代表取締役社長 舟本秀男さん「先覚者から学ぶ北海道の夢」
丸山淳士パストガバナー「理想のロータリアンとは？」

いずれも16:30より開始される第1次グループワークショップのテーマである“夢を持とうロータリアン”に大変参考になる演題です。3年未満と言わず、5年未満・6年未満の会員も大歓迎致します。たくさんのロータリアンの参加登録をお願いします。

※登録締切日 平成29年12月16日(土)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2017.11.13

ハイライトよねやま Vol.212

彫刻コンクールで学友が大賞を受賞



彫刻家として活躍する米山学友、キムキョミンさん(2007-08/東京多摩グリーンRC)の作品が、「第27回UBEピエンナーレ」(現代日本彫刻展)で大賞を受賞しました。

同展は、国内で最も古い歴史を持つ野外彫刻国際コンクールです。2年に1度、山口県宇部市で開催され、今回は世界29カ国(日本含む)、277点もの応募作品の中から、キムキョミンさんの「リメンバー宇部」が大賞を射止めました。外国人女性が大賞を受賞したのは1961年に同展が始まって以来初めてのことです。

キムさんの作品に共通するテーマは“視覚で感じる水音”。「オフィスビルやホテルのエントランスなどにも作品を飾ってもらい、未永く多くの人々に作品を愛していただけたら嬉しい」と、語っていただきました。



寄付金速報 一米山月間のご支援に感謝

10月までの寄付金は前年同期と比べて9.0%増(普通寄付金:2.3%増、特別寄付金:14.1%増)、約4,700万円の増加となりました。

今年には財団設立50周年の米山月間であり、50周年記念のご寄付をはじめ多数のご支援を

いただきました。米山学友を含め、多くの方々からのご寄付に心から御礼申し上げます。上期も残り2カ月弱となりました。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

子どもの学力向上を願って 一ミャンマー米山学友会一

今年2月に創立したミャンマー米山学友会が10月20日、現地の小中学校で成績優秀者への表彰式を開きました。支援活動のためミャンマー訪問中の京都西RC会員も同行しました。

表彰されたのは小学1年生～中学4年生の各学年成績上位者で、自転車や学用品が贈呈されました。学友会では、教育に熱心でありながら資金不足に悩む学校の窮状を知って支援を始め9月には貯水タンクを設置するための寄付もしています。タンシンナイン会長(2003-05/東京調布RC、現・東京米山ロータリーEクラブ会員)は「こうした表彰は学校始まって以来のこと、大変喜んでもらえました。自転車を見

た生徒は、信じられないという面持ちでした。これを機に勉学に励み、学力の向上につながればうれしい」と語りました。



記事の続き、および、その他の記事はぜひPDF版をご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight212.pdf.pdf>

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2017年12月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第2ゾーン担当

RPICの渡辺治夫さんの訃報に接し、言葉ありません。9月号の彼の寄稿を読み返し、その鋭い視点を改めて学ばせていただきました。合掌。

今月号は小生の担当(400字)です。9月号に引き続いて会員増強への御協力をお願いすることになります。「我がクラブを町おこしの中心クラブになっていただくためにクラブのビジョン声明を…」と前号で述べました。過去様々な世界のロータリーリーダー達が、「ロータリー運動がたとえ世界的規模に拡がろうとも、原点はクラブレベルでは地域への奉仕活動です」と、説いています。

私達は、自分達の企業が地域の皆さんのおかげで成り立っていることを知っていますから、地域が元気になるための努力を惜しんではいません。これからは、その方策をクラブとして考え実施していくことが必要となると思います。それをビジョンとして明確化させ、継続して取組みを続けていきたいと考えますが…そんな貴兄の姿やクラブを地域の人々が見ています。やがては一緒に活動する仲間に加わってくれると信じています。

そんなことを夢見ている綿秋です。

国際ロータリー理事 斎藤直美

新会員のオリエンテーションやセミナーは重要

早いもので、今年も余すところ1ヶ月となりました。ロータリー年度では12月末と年度末の6月がクラブ会長・幹事、会員増強委員長にとって、一番心を悩ますシーズンです。

ガバナー年度、2750地区では4,900名を超え5,000名が見えたと思った瞬間があり、楽しみに年度末の会員数を心待ちにしていたが、結果は想像以上に厳しいもので、5,000名はおろか4,900名をも割り込みました。純増数は80名前後に留まりました。日本全体では、6月に700名の方が会員となられましたが、なんと2,800名の方が一ヶ月で退会されました。会員増強に各クラブ、各地区が努力されている一方で、ロータリーの本来の楽しみを理解する前に多くの方が退会されることが散見されます。

クラブにおいても地区においても、新会員オリエンテーションや新会員セミナーの重要性を一層理解して頂きたいと思えます。また、ロータリークラブに入った大きな理由である業種を超えた交流をクラブは無論、グループ、地区、地区外ロータリアンとの交流の場を多くの会員が持てるよう、配慮して頂きたいと考えます。ロータリーでは様々な活動に、実際に参加して行動してこそ、ロータリー本来の楽しみを見出すことが出来ると思えます。

リーダーの方々には是非そのことをクラブ会員に伝えて頂き、クラブの活性化、クラブ基盤の強化に繋げていただきたいと思います。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 水野 功



渡辺治夫 第二ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターが十月二十六日ご逝去されました。ご報告申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り致します。右の記事は九月号の再掲載です。尚、RPICのお問い合わせは当面は第1ゾーン、RPIC鈴木秀憲、又は第3ゾーンRPIC横山守雄にお願いします。

行動をもって「公共イメージと認知度の向上」を推進しましょう

イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの『行動』によって答えましょう」と述べました。ロータリーの「公共イメージと認知度の向上」への取り組みにおいても、『ロータリアンの行動する姿』を見てもらうのが一番効果的であると実感しております。

私の所属する第2780地区横須賀ロータリークラブ(神奈川県)では、10年前より毎年「10,000メートルブルームナードクリーン作戦」を開催しています。地域の清掃ボランティア活動ですが、今年3月12日の日曜日に実施。横須賀市に拠点を置く6つのロータリークラブ、ローターアクト、ボーイスカウト、6高校から総勢621名の参加がございました。この621名が6つの出発点に別れて一斉にスタート、清掃活動をしながら市民と触れ合いながらゴール地点である横須賀港湾岸緑地である「海辺つり公園」を目指しました。清掃活動をする私達の行動を、昇り旗のロータリーの文字を、キャップについたロータリーのロゴをいったい、何千人、何万人の市民が見たことでしょう。

私自身もこの活動をしていて、多くの市民の方と触れ合ったり、挨拶をしたり、そして人の目に触れている事を実感致します。人間の五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)の内、最も情報摂取量が多いのは全体の87%を占める「視覚」なのです。「ロレックス」は世界的一流の時計ブランドですが、「ロレックス」という言葉はすぐに「腕時計」をイメージされるでしょう。

何故でしょうか? 腕時計は「行動」する人の腕にあるからです。つまり「行動性」があるので、他人の目に触れる機会が多いのです。一方、壁掛け時計は自宅の壁に固定されているため、他人の目に触れる機会が少ないのです。私達は行動する事によって、そしてその姿をより多くの人に見てもらふ事によって「公共イメージと認知度の向上」を推進して参りたいと存じます。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺 治夫

米山奨学生の紹介



一人一人との出会いを宝物にする

札幌東ロータリークラブ

許 晴 (中国)

北海道大学

私は許晴と申します。現在、北海道大学国際広報メディア・観光学院の博士2年生で、日本語教育を研究しています。日本での学生生活はロータリークラブの皆様を支えていただいて、大変光栄で、嬉しく思っております。

日本に来たのは2012年の10月でした。大学4年生だった私は交換留学で、北海道大学の日本語・日本文化研修コースに入学しました。日研コースの皆様はドイツ、フィンランド、シンガポール、スイスなど世界中の10何カ国から集まり、同じような目標を持っています。それは、日本語を上達させ、日本文化や社会を学び、自分の国と日本の交流に貢献したいからです。この一年間、私は初めて

「国際交流」という言葉を深く味わえました。単に中国と日本との交流のみならず、出会った一人一人を大切にし、お互いに学び、理解することこそ真の国際交流と言えます。

月に1回のロータリークラブの活動に参加し、クラブの皆様とコミュニケーションすることができて、日本社会に対する理解を深め、国際交流と奉仕を目指している皆様の姿にも感心しています。

これからも、一人一人との出会いを宝物にし、学業も国際交流も努力したいと思います。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

留 萌RC 森 俊二 会員 (1回) 10月30日	札幌南RC 富樫 昭夫 会員 (2回) 10月 5日
江 別RC 郷 和平 会員 (3回) 10月30日	札幌南RC 澤田 隆一 会員 (4回) 10月 5日
札幌東RC 米谷 龍三 会員 (10回) 10月20日	札幌南RC 熊本 努 会員 (5回) 10月 5日
札幌東RC 奥貫 一之 会員 (11回) 10月20日	札幌南RC 平 昌夫 会員 (5回) 10月 5日
札幌東RC 井上 善博 会員 (1回) 10月20日	札幌南RC 橋本 耕二 会員 (6回) 10月 5日
札幌東RC 岩崎 修一 会員 (1回) 10月20日	小 樽RC 田中 良和 会員 (1回) 10月 3日
札幌東RC 菊地 章 会員 (6回) 10月20日	室蘭北RC 吉田 隆 会員 (1回) 10月31日
札幌南RC 佐藤源五郎 会員 (13回) 10月 5日	

米山功労クラブ 札幌東RC 46回 10月20日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

留 萌RC 森 俊二 会員 (1回) 10月31日	札 幌RC 久保田俊昭 会員 (6回) 10月31日
留 萌RC 佐藤 潔 会員 (4回) 10月31日	札幌東RC 菊地 章 会員 (3回) 10月 6日
江 別RC 津田 政勝 会員 (3回) 10月31日	函館五稜郭RC 奥田 武彦 会員 (1回) 10月27日
札 幌RC 吉野 重幸 会員 (1回) 10月31日	函館五稜郭RC 坪内 繁 会員 (1回) 10月27日

ポール・ハリス・フェロー

留 萌RC 福士 幸子 会員 10月31日	札 幌RC 富岡 俊介 会員 10月31日
留 萌RC 高橋 理佳 会員 10月31日	室蘭北RC 吉田 隆 会員 10月31日

地区カレンダー（12月・1月）

12月 疾病予防と治療月間	
1 (金)	
2 (土)	次期地区ガバナー補佐会議(札幌)
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	ガバナー指名委員会予定(札幌)
10(日)	
11(月)	
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	
17(日)	
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	天皇誕生日
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	
30(土)	
31(日)	

2018年1月 職業奉仕月間	
1 (月)	元日
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	成人の日
9 (火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	
14(日)	～20日(土) 国際協議会(米国・サンディエゴ)
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	～28日(日) 新会員合宿セミナー(登別) 地区ガバナー補佐会議(登別)
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.10.31	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	75.00
	羽幌	3	45	43	-2	2	81.59
	妹背牛	4	7	7	0	0	78.57
	留萌	3	34	36	2	3	85.90
	小計		116	119	3	7	80.27
2	赤平	4	29	28	-1	1	86.00
	芦別	3	32	32	0	2	79.30
	砂川	4	41	41	0	1	93.58
	滝川	4	87	94	7	4	65.00
	小計		189	195	6	8	80.97
	3	美唄	4	29	28	-1	0
江別		3	32	34	2	1	78.43
江別西		4	29	30	1	4	83.30
岩見沢		4	75	77	2	0	94.57
岩見沢東		2	19	19	0	2	85.30
栗沢		3	19	19	0	1	92.10
栗山		3	26	26	0	4	94.67
当別		4	27	28	1	0	91.97
小計			256	261	5	12	87.83
4	札幌	3	117	129	12	2	97.54
	札幌はまなす	3	21	22	1	3	68.19
	札幌北	3	42	43	1	4	84.29
	札幌モーニング	3	34	35	1	0	73.96
	札幌西	3	48	50	2	9	81.40
	札幌西北	4	34	34	0	3	78.60
	札幌手稲	4	39	39	0	4	82.58
	小計		335	352	17	25	80.94
5	札幌東	3	132	130	-2	0	95.90
	札幌清田	3	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	3	66	68	2	11	97.35
	札幌真駒内	3	23	25	2	6	100.00
	札幌南	3	85	88	3	1	98.11
	札幌大通公園	2	13	13	0	4	65.40
	新札幌	3	24	24	0	3	81.60
	小計		356	361	5	29	91.19
6	岩内	3	21	21	0	1	82.53
	倶知安	3	40	41	1	4	73.50
	小樽	4	73	77	4	4	75.17
	小樽南	3	67	66	-1	2	84.89
	小樽銭函	3	19	20	1	1	83.00
	蘭越	4	10	10	0	0	100.00
	余市	4	45	45	0	6	77.60
	小計		275	280	15	18	82.38

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数12名(内女性会員6名)を含む

10
月
出
席
率
・
会
員
増
減
数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,633人(161人)
増加会員数	92人
当月平均出席率	82.42%

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2017.10.31	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	80.47
	千歳セントラル	3	43	42	-1	7	71.43
	恵庭	4	48	51	3	3	74.53
	北広島	4	20	20	0	1	86.00
	長沼	2	17	17	0	3	82.35
	由仁	2	7	7	0	0	57.14
小計		198	207	9	21	75.32	
8	えりも	2	16	17	1	1	100.00
	三石	3	12	12	0	0	66.60
	様似	4	18	18	0	1	75.69
	静内	4	69	69	0	4	83.75
	浦河	2	26	27	1	2	100.00
	小計		141	143	2	8	85.21
9	伊達	3	60	65	5	1	82.87
	室蘭	4	33	35	2	1	70.00
	室蘭東	3	31	34	3	0	74.60
	室蘭北	4	42	47	5	3	72.87
	登別	4	28	28	0	1	78.57
	洞爺湖	2	10	10	0	0	100.00
小計		204	219	15	6	79.82	
10	函館	4	76	83	7	0	90.10
	函館亀田	3	40	42	2	4	85.08
	森	3	36	36	0	0	71.00
	七飯	4	12	12	0	0	75.00
	長万部	3	8	10	2	0	70.00
	函館セントラル	4	22	22	0	2	83.71
小計		194	205	11	6	79.15	
11	江差	2	11	11	0	1	81.82
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	77.68
	函館東	4	45	44	-1	7	74.42
	函館北	3	20	20	0	0	92.77
	北斗	4	13	13	0	0	59.60
	小計		144	144	0	8	77.26
12	白老	3	29	29	0	3	77.50
	苫小牧	4	55	60	5	3	85.66
	苫小牧東	4	29	29	0	5	87.07
	苫小牧北	4	30	29	-1	2	89.19
	小計		143	147	4	13	84.86
合計		2,551	2,633	92	161	82.42	

文庫通信

(362号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

◎「ロータリーの精神」	ビチャイ・ラタクル 2017 6p (D.2680地区大会記録誌)
◎「奉仕の理想と自利利他と黄金律」	吉田雅俊 2017 1p (D.2580月信)
◎「一業一会員制と親睦の関係」	玉井清治 2017 1p (D.2510月信)
◎「ロータリーの魅力—元 R.I. 理事 今井鎮雄、ロータリーを語る」	神戸西 R.C. 2004 178p
◎「ロータリーの社会奉仕」	武田和夫 2011 2p (航跡Ⅳ)
◎「ロータリーからのプレゼント」	長崎南 R.C. 1998 8p
◎「世界中でよいことをしてきた100年—ロータリー財団100周年記念イベント特集」	D.2770 2017 31p
◎「ポリオ・プラス活動15年の歩み」	中井義尚 D.2640 2001 36p
◎「ロータリーデー」	D.2770 2015 39p

(上記申込先: ロータリー文庫)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介しています。

表紙写真提供/函館中央図書館蔵

Rotary
District 2510

